

専門職資格取得方法の類型と司書資格

葉袋秀樹（図書館情報大学）

[抄録]

わが国で広く知られている国家資格で専任の職業として成立している資格の中から、医師、看護婦、栄養士、弁護士等の20種類の資格を任意に選び、その取得要件と取得方法を調査し、それによって8つの類型に分類し、それぞれの特徴を明らかにした。次に、全体について、資格の主題分野、資格試験の有無、資格試験の合格率、資格試験の科目、教養試験の有無などの特徴について考察した。それらをもとに、司書を他の類型と比較し、その独自性を明らかにし、資格試験がない点について考察した。これらをもとに、司書を専門職として確立するための条件である資格試験の必要性、試験科目の内容、教養試験の意義について考察した。

はじめに

司書資格のあり方について論ずる場合、これまでは諸外国における図書館専門職員の資格の制度をモデルとし、それと日本の制度を比較する方法が一般的であった。しかし、日本の社会と諸外国の社会における資格や大学教育のあり方は著しく異なり、海外のモデルは直接適用できないため、このような方法は必ずしも有効ではない。他方、わが国における資格、特に社会的評価の高い資格の取得方法について検討し、それと司書資格の取得方法を比較する方法がある。しかし、これまで、わが国の図書館界ではこのような方法は試みられてこなかった。

本稿では、わが国の社会で広く知られている国家資格で専任の職業として成立している資格の中から、医師、歯科医師、薬剤師、看護婦、管理栄養士、保母、介護福祉士、栄養士、気象予報士、司法書士、行政書士、中小企業診断士、弁護士・検事・裁判官（司法試験）、弁理士、公認会計士、社会保険労務士、税理士、教諭、社会教育主事、司書、学芸員の20種類の資格を任意に選んだ。業務内容が機械の取扱い等に関するものではなく、デスクワークや人間に対するサービスである資格を選んだ。

これらについて、市販されている資格取得のガイドブック9点によって取得要件と取得方法を調査する。そして、これらの資格を取得要件と取得方法によって類型に分類し、それぞれの特徴を明らかにする。さらに、司書を他の類型と比較することによって司書資格の独自性を明らかにする。

1. 資格取得方法の類型

(1) 4年制大学専門学部・資格試験

4年制大学（医学部は6年制）の専門学部を卒業した上で国家試験に合格する必要がある。十分な専門教育を行なっている上に、資格試験を行なっている。

- ①医師
- ②歯科医師

③薬剤師

(2) 複線型専門教育・資格試験

4年制大学・短大の専攻科，専門学校等で専門教育を受けた上で，国家試験に合格する必要がある。専門教育の後，資格試験を行なっている。

①看護婦（士）

②管理栄養士

(3) 複線型専門教育・代替資格試験

①は4年制大学・短大の専攻科，専門学校，②は養成施設で専門教育を受けたものはそれによって資格を得ることができるが，専門教育を受けていないものは国家試験に合格する必要がある。前者は資格試験を免除されている。他専攻の大卒者，あるいは実務経験のある高卒者は国家試験によって資格を得ることができる。

①保母（保父）

②介護福祉士

(4) 複線型専門教育・無試験

国家試験はなく，4年制大学・短大の専攻科，専門学校等で必要単位を履修すれば資格を得ることができる。

①栄養士

(5) 学歴不問・資格試験

単位の履修によって資格を得ることができる養成機関はなく，資格試験に合格する必要がある。受験の資格制限はない。いわゆる学歴不問である（③は主に高卒以上）。試験内容には教養試験はない。

①気象予報士

②司法書士

③行政書士

④中小企業診断士

(6) 学歴不問・教養試験付・資格試験

単位の履修によって資格を得ることができる養成機関はなく，国家試験に合格する必要がある。国家試験のうちで最も難しいものであるが，学歴不問である。高卒以下の学歴の人は一般教養・外国語試験の受験が必要である。高卒以下の学歴の人にも門戸を開く代わりに，一般教養・外国語試験を課し，資格には教養が必要であることを明確にしている。

①弁護士・検事・裁判官（司法試験）

②弁理士

③公認会計士

(7) 実務経験学歴換算・資格試験

単位の履修によって資格を得ることができる養成機関はなく，資格試験に合格する必要がある。4年制大学・短大の卒業生と一定の実務経験のある高卒者が受験できる。高卒者の実務経験を受験資格の学歴に換算している。教養試験はない。

①社会保険労務士

②税理士

(8) 大学資格課程・無試験

4年生大学・短大で必要な単位を履修すれば資格が取得できる。③以外は資格試験はない。

専攻科で履修する必要はない。②③④は講習の受講によっても資格を得ることができる。

- ①教諭
- ②社会教育主事
- ③学芸員
- ④司書

2. 資格取得方法の特徴

(1) 資格の主題

20種類の資格は業務の主題分野によって次のグループに分類することができる。

- ①医学関係 医師，歯科医師，薬剤師，看護婦，管理栄養士，栄養士
- ②社会福祉関係 保母，介護福祉士，社会福祉士
- ③気象関係 気象予報士
- ④法律関係 弁護士・検事・裁判官（司法試験），弁理士，司法書士，行政書士
公認会計士，税理士，社会保険労務士
- ⑤経営関係 中小企業診断士
- ⑥教育・文化関係 教諭，社会教育主事，学芸員，司書

中心は医学・法律関係である。資格の数が多く，地位も高い。医学関係は人間の生命に，法律関係は権利・義務関係に関する資格である。

(2) 資格試験の有無

教諭，社会教育主事，司書，栄養士以外はすべて何らかの資格試験がある。資格が職業となる場合，資格試験があるのが通例であり，大学で単位を履修すれば，資格が得られる方が稀である。

(3) 資格試験の合格率

専門学部卒業者が対象である医師国家試験の合格率は88%，薬剤師国家試験は75%である。複線型の場合でも，看護婦が87%，管理栄養士が40%であり，決して容易ではない。司書には資格試験はない。これは資格試験の合格率100%と同じことである。

(4) 資格試験の科目

試験科目の特徴は，その仕事に直接かかわる科目に限らず，基礎となる学問の科目や関連する学問の科目が含まれていることである。

看護婦は，看護学関係の科目のほか，解剖生理学，生化学，薬理学，病理学，微生物学，公衆衛生学，栄養学，精神保健，社会福祉などの他の学問の科目がある。管理栄養士は，栄養学関係の科目のほか，解剖生理学，病理学，生化学，公衆衛生学など基礎となる他の学問の科目がある。社会福祉士は，福祉関係の科目のほか，心理学，社会学，法学といった基礎的な科目がある。保母は，保育関係の科目のほか，社会福祉，児童福祉，児童心理学・精神保健，保健衛生学・生理学の科目がある。

応用分野の科目だけではなく，確立された学問が試験科目となっている点が特徴である。

(5) 教養試験

弁護士・検事・裁判官（司法試験），弁理士，公認会計士には高卒以下の学歴の人のための教養試験がある。

(6) 資格の更新

中小企業診断士のように3年ごとに更新しなければならない資格がある。

3. 司書資格取得方法の特徴

(1) 司書資格の特徴

大学の課程や講習での科目履修だけで資格が取れ、国家試験などの資格試験がないことである。資格試験がない資格は、教育関係以外では、栄養士、保育士がある。しかし、この2つの資格は専攻科ないし専門学校でなければ取得できないが、司書は大学でも専攻科ではなく、課程でよい。

(2) 資格試験の欠如

資格試験がないことは文部省所管の教育関係の資格に共通する特徴である。公立学校の教員では、都道府県・政令指定都市単位の「公立学校教員候補者選考試験」がその役割を果たしているという意見があるが、これに対して、十分な資格を持つ者を排除する可能性があると同時に、不十分な資質しか持たない者を採用する危険性があるという批判がある。

教員の場合、国家試験による厳密な資格試験の実施を望む声もあるが、「教員採用の国家統制」という批判が予想されるという指摘がある。

この2つの指摘から司書制度の問題点が明らかになる。第一に、自治体単位の採用試験の限界である。公立学校教員のように、都道府県単位の採用試験が行われていても、不十分な資質しか持たない者を採用する危険性があるといわれるのであるから、公立図書館の司書のように自治体単位の採用試験しかない場合は、その危険性はより高い。第二に、国家試験の実施が困難な理由である。司書の場合も同じ理由で国家試験の制度化は困難であったと考えられる。実際、もし司書資格に国家試験を導入しようとするれば、猛反対が起きたであろう。

4. 専門職資格確立の必要条件

- ・資格試験
- ・カリキュラム
- ・学歴と教養試験

参考文献

- 1) 池田書店編集部編『資格全(オール)ガイド取り方選び方 BEST500』1999年版, 池田書店, 1997, 511p.
- 2) 谷口義人編『資格・検定受験案内』1999年版, 学習研究社, 1998, 542p. (学研ムック)
- 3) 資格試験指導会編『資格の取り方総ガイド』1999年版, 梧桐書院, 1997, 447p.
- 4) 西東社編集部『資格の種類と取り方』1999年度版, 西東社, 1997, 494p.
- 5) 資格試験研究会編『資格試験オールガイド』1999年版, 実務教育出版, 1997, 431p.
- 6) 『国家試験資格試験全書 自由国民ガイド版』1999年版, 自由国民社, 1998, 592p.
- 7) 晶文社出版編集部編『資格・検定総ガイド』1999年度版, 晶文社出版部, 1997, 542p.
- 8) 新星出版社編集部『資格・ライセンス最新ガイド』1999年度版, 新星出版社, 1997, 310p.
- 9) 高橋書店編集部編『資格取り方選び方総ガイド』1999年版, 高橋書店, 1998, 527p.
- 10) 市川昭午編『教師＝専門職論の再検討』教育開発研究所, 1986, 279p. (教師教育の再検討 1)